

## 前期再編での開設準備検討会における 新高校5校の開設準備に係る基本的な考え方

(平成21年8月23日策定)

### 1 高校再編に係る学習活動や学校行事、部活動等の共通課題に関すること

各開設準備室においては、新高校の教育充実のため、再編対象校の歴史や伝統、生徒や保護者、地域のニーズ等を踏まえ、新高校が生徒の将来の可能性を拓き、夢が見える学校となるよう、開設準備を着実に進めることが大切である。

学習活動の充実に当たっては、これまでにない魅力ある教育内容を取り入れるなど、新たな特徴を明確にしていくとともに、新実習棟など、新しいカリキュラムを実施するために必要な施設設備や教育備品の整備、教員配置等、教育環境の整備が必要である。

学校行事や部活動については、平成22・23年の移行期に、新高校、再編対象校において、生徒がそれぞれに活気ある活動を行い、充実した高校生活を送ることができるよう、合同で活動することも含め、新しい運営についてきめ細かい配慮が必要である。

なお、各開設準備室においては、中学生が適切な進路選択ができるよう、引き続き、中学校等への説明や詳細な情報の提供に努めていただきたい。

### 2 新高校の名称、校歌、校章等に関すること

新高校の名称については、本県県立高校の名称の特徴等を踏まえ、「所在する地域がわかること」、「学校の特徴がわかること」、「親しみやすく、わかりやすいこと」を基本に考えることが望ましい。

このことを踏まえ、新高校の名称には、学校の所在地の市町村名などの地域名を用いることとし、1市に複数の県立高校がある場合は、学校の所在地の市町村名に旧町村名を加えることなどを含め、所在する地域を示し、わかりやすいようにすること、また、ものづくりの中核となる総合的な工業科高校2校については、学校の所在地の市町村名に教育内容の特徴を表す言葉を加えることが望ましい。

校歌、校章等については、校名が決定した後に、メモリアルの整備等も含め、総合的に検討していくことが望ましい。